

道後ゆう地域連携推進会議議事録

1 日 時 令和7年10月16日(木) 10:00~11:00

2 場 所 食堂

3 出席者 【構成員】

藤本篤、久保知子、細川優子、岡田優子、石丸正
(見学者 森岡鈴葉)

【施設職員】

渡邊剛次、坪田広宣、門屋功一、光宗紫乃

愛媛県社会福祉事業団地域連携推進会議規程第3条第2項に規定する定数を満たしていることを確認し、同規程第3条第3項の規定に従い、議事進行を施設長が行う。

最初に同会議の目的について、厚生労働省の「地域連携推進会議の手引き」等を使用して施設長が説明する。

4 議 案

(1) 施設の概要及び利用者の日常の様子について

- ・令和6年度事業報告
- ・令和7年度事業計画

(2) 運営状況について

(3) 利用者の権利擁護について

- ・事故報告・ヒヤリハット

(4) その他(地域との連携について)

坪田支援課長 議案(1)について施設概要及び利用者の状況について、令和6年度事業報告および令和7年度事業計画等の資料を基に説明行う。

① 事業所の取り組みについて

② 利用者の状況等について

- ・障がい種別や高齢化していること等の説明を行う。

③ 現在の活動等について

- ・自治会と共同してイベントを企画したことや、道後ゆう利用者8名で紙ンバックプロジェクトに作品応募をしたところ最優秀賞をもらったことを伝達した。

光宗主事 議案(2)運営状況について、道後ゆうの令和6年度の運営状況を説明する。

【令和6年度決算】

・収入(障害福祉サービス等事業収入)	247,158,147 円
	(243,639,562 円)
・人件費支出(人件費率：74.1%)	183,035,349 円
・その他事業費・事務費支出外	54,784,614 円
・収支差	9,338,184 円

渡邊所長

①利用者確保について

・道後ゆうは多機能型となっている。機能訓練や就労移行支援はサービスが有期限であることや、地域移行を積極的に進めていることもあり、利用者確保が難しい現状が続いている。そのため、前回提案があった精神科病院との連携にも力を入れて PR 活動を行い、利用者確保に努めている。しかし、4 人部屋等を理由に利用を断られるケースも出てきている。

②人件費率について

・一般的な福祉関係の事業所が 65～70% に対して、道後ゆうでは人件費比率が 74.1% と高くなっている。

坪田支援課長

議案(3)利用者の権利擁護について説明する。

○事故報告・ヒヤリハットについて

・事故報告 (R7.4.1～9.30)	74 件 (市町報告なし)
・ヒヤリハット (R7.4.1～9.30)	33 件

※職員の事故等への意識づけや安全な支援を行うために、軽微な案件に関しても、すべて報告するよう義務付けているため、件数が多くなっている。

渡邊所長

①虐待防止について

・虐待防止委員会にて研修等行っている。全体研修では 10 月 23 日に松山市障がい者虐待防止研修会で講師をされた鈴木先生に研修依頼を行っている。県下でも虐待防止事例があったことなどから、職員にも襟を正して仕事をするように伝えている。

②法人の検討委員会等について

・安心安全委員会を立ち上げ、防犯や虐待防止などの対策について検討している。

・業務改善プロジェクトの検討会を立ち上げ、業務の洗い出しを行い、業務の見直しをしている。特に ICT の活用を行い、業務の効率化を行い利用者支援の充実を図れるように検討している。

・リクルーター制度の導入を行い、職員 3 名が学校等の情報共有や交流等を行い、職員確保にも力を入れている。10 月 15 日(水)には河原医療福

社専門学校の介護福祉士科の学生と施設職員、利用者での交流会等も行っている。

議案(4)その他(地域との連携等)について、各構成員に話を聞く。

- | | |
|-------------|---|
| 石丸構成員 | ・いつもよくしていただいております。特にお話しすることはありません。 |
| 岡田構成員 | ・前年度お話しした、精神科病院との連携についても、前向きに対応してもらっている。 |
| | ・町内のお祭りやイベントにも参加しつつ、施設内のイベント等を町内に周知して施設を見てもらい、知ってもらえるようにしていって下さい。 |
| 森岡(見学者) | ・初めての参加でわからないことばかりであったが、沢山の行事があり、地域との連携も行えていると感じた。 |
| 藤本構成員 | ・施設入所と機能訓練の併用利用者の人数は5名程度か。 |
| 坪田支援課長 | ・状況にもよるが、5～7名の施設入所となっている。 |
| 門屋サービス管理責任者 | ・施設入所と就労移行の併用利用者も2名となっている。 |
| 藤本構成員 | ・地域移行の意向確認についてどのように行っているか。 |
| 渡邊所長 | ・サービス管理責任者を担当とし、モニタリング時に確認している。地域移行の希望者への支援をどうしていくかが今後の課題となっている。 |
| 藤本構成員 | ・入所希望者で入所を断る事例はあるか。 |
| 坪田支援課長 | ・こちらから断るより、見学時に4人部屋であることなどを理由に断られるケースが多くなっている。 |
| 門屋サービス管理責任者 | ・浴室やトイレ等の環境が整っておらず、重度の方は入所を辞退するケースもある。 |
| 藤本構成員 | ・事故とヒヤリハットの線引きをどうしているのか。 |
| 坪田支援課長 | ・怪我等なくても、転倒した事実等あれば事故としている。 |
| 門屋サービス管理責任者 | ・事故、ヒヤリハットが発生した場合は、上司に伝え、転倒等あれば医務に状態確認等行い、担当者、事故防止委員にて対策を検討し、夕礼で周知している。月1回程度、事故防止委員会で再度検討し、職員会にて周知している。 |
| 渡邊所長 | ・事故については、同じことが起こらないように環境、人的要因などの検証を行っている。また、自分を守るため、利用者を守るため報告する大切さを伝えている。 |
| 久保構成員 | ・8月30日に私が主催した「みんなと繋がろうコンサート」を行った。その時、道後の利用者の方や他施設の方も参加してもらい、一般の方がとても感動されていた。施設内だけでなく、地域に出ていくことも考えていって下さい。 |

- 渡邊所長 ・音楽療法の活動や保護者会の会長もしていただき道後ゆうにとってありがたい存在となっています。今後ともよろしくお願いします。
- 細川構成員 ・話がとてもわかりやすかったです。
- ・去年はキッチンカーや映画会を行ってもらっている。地域の方がどのくらい来たのか教えて欲しい。
- 渡邊所長 ・映画会について地域の方が3名来られ、キッチンカーを呼んだ際は、地域の方かどうか分からないが、通行人の方等も含め、沢山の方が買いに来られていた。
- 細川構成員 ・道後の秋祭りの神輿等も受け入れてもらいありがとうございます。今後は、参加して一緒に地区を回ったり、神輿の組み立てなども参加してもらうなどのしてはどうか。
- 渡邊所長 ・町内会会長の細川さんは来年、任期満了となるため、新しい会長と協議しながら進めていきたい。
- 渡邊所長 ・その他、質問等を求めるが構成員から特になし。
- ・施設見学を今年度中に実施予定であり、詳細は追って書面で案内することを伝え、会議を閉会する。